

令和3年度の重点課題

○ 5年生男子

新体カテストのほとんどの種目において、県平均かつ全国平均値より低い。運動やスポーツをすることが嫌いと答える児童の割合が5.6%である。

○ 5年生女子

「上体起こし」「反復横跳び」「50メートル走」において、県平均かつ全国値より低い。運動やスポーツをすることがやや嫌いと答える児童の割合が6.25%である。

○ 共通

ボール遊びをする児童が多いが、握力や走力を高めることができる鉄棒や鬼ごっこをする児童が少ない。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

● 体育授業で行う取組

○ 体育の時間に行うサーキットトレーニングで反復横跳びやタイヤ跳びなどを行い、リズムよく速くサイドステップすることを意識して取り組ませる。

○ 学級レクや体育の準備運動に、なわ跳びや鬼ごっこなどの運動を取り入れる。

● 体育授業以外で行う取組

○ 体育的イベントの開催

大なわ大会や持久走大会など、学級や個人で目標をもち、継続して運動に励むことができる取組を行う。

○ Run Run タイムの実施

昼休憩終了3分前から音楽を流し、運動場を周回させる。周回した個人の記録を集計し、目標をもって運動をさせ、達成感を与える。

○ なわ跳びジャンプ台の積極的な活用

全身の筋持久力を高めるためになわ跳びは有効な運動である。各学級でなわ跳びカードを作成し、意欲的・継続的に取り組めるようにする。

令和4年度新体カテストの結果(県平均値(令和3年度)・全国平均値(令和2年度)との比較)

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	18.63	16.65	33.09	43.96	54.29	9.39	161.71	23.17	55.45	第5学年	16.94	14.69	33.19	41.69	42.75	9.75	151.86	14.31	53.07

県平均値かつ全国平均値未満

令和4年度新体カテストの結果(県平均値(令和4年度)・全国平均値(令和3年度)との比較)

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	18.63	16.65	33.09	43.96	54.29	9.39	161.71	23.17	55.45	第5学年	16.94	14.69	33.19	41.69	42.75	9.75	151.86	14.31	53.07

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	66.67	20.83	8.33	4.17	第5学年	43.75	25.00	31.25	0.00

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- 体育の時間に行うサーキットトレーニングで反復横跳びやタイヤ跳びなどを行い、リズムよく素早くサイドステップすることを意識して取り組ませる。
- 学級レクや体育の準備運動に、体力向上のための運動や体がやわらかくなるストレッチを取り入れる。
- 各学年の担任に鬼ごっこ等走力を高める様々な運動を紹介し、体育の授業で行ってもらう。

体育の授業以外で行う取組内容

- 体育的イベントの開催  
なわ跳びチャレンジや大なわ大会など、学級や個人で目標をもち、継続して運動に励むことができる取組を行う。
- 体育委員会活動  
体力テストの項目に沿ったストレッチや準備運動を紹介する動画やポスター、スライドなどの作成を通して、体育の授業や体育的イベントなどで効果的に活用する。
- なわ跳びジャンプ台の積極的な活用  
全身の筋持久力を高めるためになわ跳びは有効な運動である。各学級でなわ跳びカードを作成し、意欲的・継続的に取り組めるようにする。

重点課題

○ 5年生男子

運動やスポーツに対して肯定的な思いをもっている児童が9割程度と多い。一方、運動やスポーツをすることがやや嫌い・嫌いと答える児童の割合が12.5%と若干名否定的な思いをもつ児童がいる。

○ 5年生女子

運動やスポーツをすることがやや嫌い・嫌いと答える児童の割合が31.25%である。運動やスポーツに対して否定的な思いをもつ児童が男子と比べてかなり多いことが分かる。

○ 共通

「上体起こし」「長座体前屈」「50メートル走」において、県平均かつ全国値より低い。ボール遊びをする児童が多いが、走力を高めることができる鬼ごっこをする児童が少ない。

令和5年度の重点目標値

- 一日の運動実施時間が30分未満の児童を、全校で15%以下にする。
- 週3日以上運動する児童を、全校で70%以上にする。
- 運動やスポーツをすることがやや嫌い、嫌いと答える児童の割合を、男子は11%以下、女子は30%以下にする。
- 「長座体前屈」については、前回の学年平均値を上回るようにする。(再度、記録を測定)